



+

第一礼拝次第

<第三弾> 「祈りのちから」

7/9 (土) 公開

説教：渡真利彦文牧師
司会：ラスムッセン・ジョナサン執事

ある日、老婆クララは、家を売却するため不動産屋のエリザベスを呼んだ。彼女は働きながら夫トニーと小さな娘を育てている。一見理想的なこの家族は、ある問題を抱えていた。その問題に気が付いたクララは、彼女を自室のワークインスペースに案内し祈ることを勧めた。そこは人生を幸せにおくる為の祈りの部屋でもあった。最初は渋々だったエリザベスだが、祈り続けることで、不思議な出来事が起こり始める。

前奏 540 会衆
主の祈り プレイズ 「主に喜ばれる者になりたい」「とわに礼拝します」

聖書朗読 ヨハネによる福音書 5:41-47 (新約聖書 p173) 司会
祈賛美 270 会衆
説教 「トラーの目標はキリスト」 牧師

祈賛美 272 会衆
聖餐式

献金
報告 新生 672b 司会衆
祝 牧師



第二礼拝次第 (19:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：ローマの信徒への手紙 10:4 (新約聖書 p288)

メッセージ：「信じる者は義とされる」
プレイズ：「鹿のように」「御手の中で」
賛美：270・新生 570



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利彦文牧師

聖書：サムエル記下 6:12-23
メッセージ：「主の箱をこぞって喜ぶ」

<クリスチャンの視点から>

人は誰でも行き詰ることがある。失敗し、誤解され、助けてくれる人もなく、どうすることも出来なくなった時、自然と口から出る言葉は「神様、助けて下さい」という祈りの言葉である。この映画は、いのりことはいつでも、どこでも誰にでもできること、祈りは最終の最強の力であることを教えてくれる。

“祈る時には自分の奥まった部屋に入り隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。” (マタイ 6:6)

映画「パッション」以来続々とクリスチャン映画が公開され、一昨年からは日本でも「神は死んだのか」「天国は、ほんとうにある」「サ・ウ・ゴッド」などが公開されました。この映画を通して初めてキリスト教に触れた方々がおられると聞いています。映画館なら行きやすいからでしょう。クリスチャン映画3作品が9週間公開されること自体奇跡のイベントです。ぜひ今回もお友だちを誘って観に行ってください。

磯川道夫 (いのちのことば社)